

# 寿湯

Kotobukiyu  
(東京都台東区)



外観

今回紹介する銭湯は、上野駅近くにある寿湯だ。銀座線・稲荷町駅から徒歩 2 分のところにある。

寿湯の建物は古い唐破風造りだ。フロントと休憩スペースを確保するための改装が行われている。

中に入るとフロントの前におつまみのスナックや缶詰が置かれていることに気付く。寿湯では生ビールが 380 円。入浴後の一杯は格別であろう。

休憩スペースには新しいマッサージ椅子の他に、無料で利用できるパソコンとプリンターも設置されている。インターネットで飲み屋を探し、地図と割引クーポンを印刷していくことも可能だ。

脱衣室は少々変わった構造だ。通常の脱衣室（1 階部分）の他に、休憩スペースの上に張り出した 2 階部分がある。ロッカーは 1 階部分に 36 個、2 階部分に 24 個、合計 60 個ある。江戸時代、銭湯の 2 階には身分を超えて人々が交流するスペースがあったとされているが、それをイメージして作られたのだろうか。2 階に上がれば、太い

梁や格天井も間近で見ることができる。1 階の脱衣室には 2 個の洗面台、デジタル式の体重計、ドライヤー（無料）の他に、トニック、乳液、化粧水といったアメニティ（無料）も用意されている。

浴室はあまり奥行きがない。24 か所の洗い場には、銭湯としては珍しくリンスインシャンプーとボディソープが具備されている。他にシャワーブースも 1 か所ある。

浴槽はボディーマッサージ 1 人分、リラックスバス（座風呂）1 人分、リポーズバス（寝風呂）2 人分のある白湯と、薬湯がある。白湯は湯温表示が 35℃であるが、実際には 42℃くらいであろう。適温だ。一方薬湯は湯温表示が 44℃。やや熱めだ。通常薬湯は長時間楽しめるようにぬるめになっているものだと思っていたが、寿湯ではそうはなっていない。

本日の薬湯は「人生バラ色 祝い酒の湯」というユニークな名称だ。説明を読めば、日本酒、酒粕エキス、ローズ水がブレンドされている。色は赤。確かに気分はバラ色である。他に、日によっては冬季限定の薬湯として、「ゆきんこの湯」というのも提供されているらしい。こちらは、シアバター、シルクエキス、コエンザイムがブレンドされていて、お肌にいいらしい。

さて、内湯の浴室は奥行きがあまりないのだが、露天風呂は圧巻である。10 人は入れるであろうと思われる大きな露天風呂は、通常の銭湯にありがちな半屋外ではなく、完全な露天となっている。この露天風呂は薬湯になっているようで、本日は「はちみ

つの湯」だ。殺菌作用のあるプロポリスがブレンドされているらしい。露天風呂には、10人分くらいの体を冷やせる休憩スペースもある。湯温は42℃。適温だ。

寿湯ではサウナも充実している。銭湯には珍しくサウナが2つもあるのだ。一つは通常のドライサウナで、もう一つが塩サウナだ。両方とも室内にテレビが設置されており、水風呂も2つあってそれぞれのサウナの近くにある。その水風呂も大きい。両方とも3人~4人は入れる大きさだ。しかも、塩サウナ用の水風呂は洞窟の雰囲気。気持ちまで冷やしてくれそうだ。水温はいずれも16~17℃だ。

サウナへの導線には飲料用のカランも用意されている。水分補給をしながらサウナを楽しむことができる。塩サウナの近くには、塩を洗い流すためのシャワーヘッドもある。至れり尽くせりだ。

今日のような寒い日は、露天風呂で積極的に頭を冷やしながら入浴を楽しむか、全身を暖めるために内風呂に入るか、悩ましいところだが、寿湯はその両方の欲求を満足させることができる。

取材班が訪れた19:00頃は、浴室も脱衣室もかなり混み合っていた。寿湯は人気の銭湯である。これだけの充実した設備があるのだから当然であろう。

- 名称：寿湯
- 所在地：東京都台東区東上野5-4-17
- 電話：03-3844-8886
- 営業時間：12:00~25:30（最終受付25:10）
- 定休日：第3木曜日
- 入浴料：大人450円、中人（6歳以上12歳未満）180円、小人（6歳未満）80円、サウナ追加料金200円
- サウナ：あり
- テレビ：あり
- 取材日：2012年1月24日（火）
- 取材：銭湯愛好会・東京支部